

## YC笹下がチラシで防犯活動に貢献 港南区安全安心まちづくり表彰

3月14日、読売センター笹下が港南区安全安心まちづくり推進協議会から地域貢献の功労店舗として表彰された。防犯チラシ折込の協力をはじめて13年。昨年9月からは月に1回、振り込み詐欺防止のチラシを折り込んでいる。「港南区・磯子区は市内でも振り込み詐欺の事件が多発しているそうなので、少しでも地域の役に立てればと思っています。今後も継続していきたい」と所長の新井輝道さんは受賞の喜びを語った。



表彰状を受け取る新井所長

**横浜スタジアムに個室観覧席が誕生！  
ホテルメイドの極上メニューも堪能できる**

『コミュニティボールパーク』化構想が進む横浜スタジアム。この春、バックネット裏スタンドに個室観覧席「NISSAN STARSUITES」(全30部屋、バルコニー付き)を新設。「上質さ」にこだわった空間では、横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズが提供する料理を堪能できる。ラミレス監督は「おいしい料理、試合観戦、横浜の夜景も楽しめる。コンビネーションが素晴らしい」と絶賛した。

◆問合せ ☎ 0120(555)790 スポンサー事務局  
(平日10時～18時、土日祝除く)



街道の味覚と花に出会える7日間  
「小田原・箱根フェア」inヨコハマ

江戸の昔から育まれた名産特産品が数多い城下町小田原から箱根峠周辺。その老舗の味が楽しめる地域フェアがそごう横浜店で開催される。箱根甘酒茶屋など人気店が出店するほか、アンテナショップ「かながわ屋」でも商品を取り揃える。フェア初日の16日(火)には新都市プラザで「花咲く県西プロモーション」イベントも。味覚と旬の観光情報を受け取りに行こう。

◆4月16日(火)～22日(月)10時～20時◆そごう横浜店 地下2階  
◆問合せ☎045(681)0007 公益社団法人神奈川県観光協会



微笑みの力～

春は新生活などで夢や希望が広がる季節。暖かな日差しが柔らかく輝きわたり、花々の色や香りが溢れ、優しく微笑んでいるようにも感じます。

ダーウィンは「笑顔というのは気分が良いときにでるだけではなく、微笑むという行動そのものが、気分を向上させる効果を持つ」とし科学的にさまざまなデータでも、口角を上げて笑顔をつくるだけで、快感や多幸感を得られる神経伝達物質が増え、免疫力をつかさどるNK細胞を活性化させる効果や、寿命が7歳延びるという研究結果もあります。

笑顔の人は雰囲気がよく穏やかで、余裕を感じさせ、相手に安心感を与えたり、話しやすくなることからコミュニケーションも円滑になります。

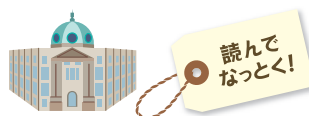
また、ミラーニューロンという神経細胞によって笑顔を見ることで、人は反射的に笑顔になります。笑顔は自分だけではなく、自分の大切な人たちも笑顔にすることができるのです。

環境や気温など変化が多く疲れやすい4月は「春うつ」が起こりやすい季節。春の恵みに包まれていると感じ、微笑みで過ごすしていきましょう。

心理カウンセラー 但野 真実子

株式会社こころ 代表取締役  
(横浜市西区平沼1-33-1 日新横浜ビル5階)  
☎045-548-4156

インターネット放送局「わいわいテレビ」出演



横浜の歴史 vol.58

文：横浜開港資料館  
調査研究員 齊藤 司

神奈川砂子③  
—「子安村を描いた挿絵」—

前回扱った挿絵「なまむぎまつら麦松原・ごやすしいうか子安一里塚」に続いては、東海道に沿った子安村の家並みを描く「子安村」そのに「其二」いりえがわばし「入江川橋・いちのみや一之宮」しんじむら「新宿村」という四点の挿絵が配置されている。ちなみに江戸時代の子安村は、正確には東から西へ向かって、東子安村・西子安村・(子安)新宿村という三つの村から構成されていたが、各村の耕地は入り組みが多く、明確には区分しがたい状況であったという。

ここでは紙面の関係上、「其二」（図版1）と「入江川橋・一之宮」（図版2）の二点の挿絵のみを紹介する。まず、「其二」の「其」は「子安村」のことであり、「其（子安村）二」ということになる。ここでは「日の入るに構はぬ夏の旅路かな」（作者名の記載はない）の句が挿絵中に記されている。日の長い夏は日没になってもまだ明るさに余裕があり、神奈川宿への行程もゆったりと進めるとの意であろう。なお、挿絵中の「<sup>かいほ</sup>海保」は海保氏の屋敷であり、煙管商売の得意先といった喜荘との親しい関係が想定される。

次に「入江川橋・一之宮」では「一宮社」  
いりかわばし ひろこしや  
「入江川」蛭児社」が描かれ、「はるの日も  
はや山の端に 入江川 かへす光を 水に  
見る哉 よ三人しらす」の和歌が付されている。  
前の俳句を受けて、夏に比べて日の短い  
春の太陽は早くも山の端にかかり、その残  
照が入江川の川面に反射しているとの内容  
である。山の端に「入」る意と「入江川」の



图版1



图版2

地名を掛け合わせたものである。

なお、「新宿村」の挿絵には、「おのつから  
 りゝ敷見ゆる 足元ハ はとけ こん これあつらいの  
 仏じやつべんしや いっく(紺力)の旅人 十返舎一九の狂歌と  
 「春風や 売切て居る 道中詩(記力) 岱画」  
 の俳句が記されている。一九の狂歌は、新  
 調した旅支度で江戸を出発した旅人の衣装  
 が真新しく見えるとの意。岱画の句は暖かさ  
 を運ぶ春風とともに旅人が盛んに往来する  
 ようになり、そのため旅の案内書である「道  
 中詩(記力)」も売り切れているという内容。  
 とともに四季の最初である春を示すとともに、  
 旅の始まりをイメージしており、「神奈川砂  
 子」が開巻から本題である神奈川宿へと進  
 むことを象徴化していることになろう。



## 自営業や会社の経営を している方の事業承継対策

事業や会社を興し、苦勞をして軌道に乗せ、現在は従業員を雇用しているような自営業者・経営者は、最終的にその事業・会社をどのように後継者に承継させるかという問題から避けて通れません。

将来的に、一代で事業を終了する場合や外部の第三者に事業を譲渡する場合は事前の対策は不要ですが、特定の子どもや幹部社員等に事業・会社を承継させる場合は、計画的に対策を講じる必要があります。

まず、後継者となる子ども等を決めたら、対内的、対外的に告知をし、次第に経営権が移っていく形とするのがベストでしょう。

また、事業に必要不可欠な重要な設備、財産や会社の株式は、後継者となる子ども等が問題なく相続や承継ができるように、遺言書等を作成しておくことも大切です。

こうした対策には長期的な視点と経験が必要ですので、専門家である弁護士、司法書士および税理士に相談をして、計画的に進める必要があるかと思います。



テレビ東京「ガイアの夜明け」で特集  
司法書士 長津田総合法務事務所  
司法書士 高橋 欣也  
横浜市緑区長津田5-1-12  
☎0120-52-8349 (9時～20時)

～20時)

